

▶石川県輪島市

輪島塗職人による熊本地震被災
陶器再生プロジェクト

震災の記憶が風化されないよう、「ものづくり」を通じた「人」の交流を目的として、熊本地震で被害を受けた作品の陶片と輪島塗漆器を組み合わせ、新しい器へと生まれ変わらせる「被災陶器再生プロジェクト」を実施することとしました。

過去に震災被害のあった輪島市と熊本県の陶芸家や職人が「金継ぎ」と呼ばれる技法で再生された器

に復興の想いを託しています。

これらの作品の制作費用、作品完成後に開催予定の展示会やお茶会の開催費用をクラウドファンディング型のふるさと納税で募集しました。

寄附者に対しては、陶器の修復作業に用いる「金継ぎ」の技術を実際に知っていただくため、東京での体験イベントを実施しました。



熊本地震で割れた陶器



五陶輪を製作する輪島塗職人



五陶輪のシンボル作品「繕桜」

注力した点や
工夫した点

割れたら価値を失う陶器と、破損しても修復して使う漆器の相反する伝統文化の技を持つ両地域の職人たちの技術交流により、「未来のものづくり」の可能性を提示したいと考えています。

Check

取組の効果

作品制作の過程で、輪島塗の職人と熊本の陶芸家が互いに両地域を訪れて交流し、それぞれの技術について意見交換を行っており、こうした活動を通じて新たなものづくりにつなげていきます。

また、ふるさと納税で得られた資金は、専用ウェブサイトの開設費用、写真や映像の作

成費用に充当し、本事業の一連の活動内容を広くPRすることができました。



「金継ぎ」の技術を知ってもらうための体験イベント



本事業の実施により生まれた交流イベント

寄附者の声



・被災した熊本の職人だけでなく、他の地域の伝統工芸の職人へも希望を与えてくれる素敵なプロジェクトだと思います。

住民の声



・この事業を契機に、お互いの伝統工芸の更なる発展と、熊本と輪島の交流が継続することを期待しています。